

経済・金融 フラッシュ

中国経済： 2014年5月の主な経済指標の動き

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

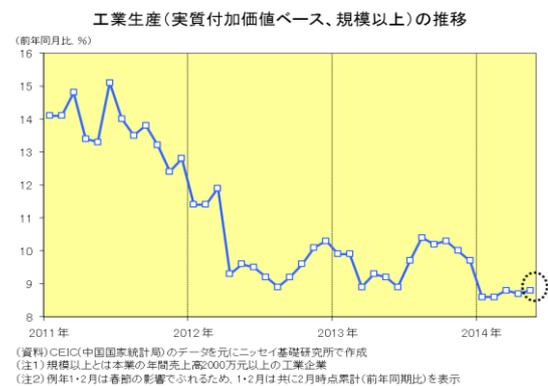
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 中国では、税関総署が6月8日に貿易統計を発表、国家統計局が10日に消費者物価を、13日に工業生産、小売売上高、固定資産投資を発表し、5月の主要な経済指標が出揃った。
- 5月の経済指標を総括すると、供給面から見ると弱々しいながらも上向いてきているが、需要面から見ると、投資は鈍化傾向を続けており、輸出と消費も表面的には上向いたと見られるものの不安が残る内容であることから、景気は一進一退の動きから抜け出せていないと見られる。
- また、5月の消費者物価は前年同月比2.5%上昇と4月の同1.8%上昇を上回ったものの、今年の抑制目標である3.5%前後は依然として大きく下回るレベルで落ち着いている。

[工業生産]

中国国家統計局が発表した5月の工業生産（実質付加価値ベース、規模以上）は前年同月比8.8%増と4月の同8.7%増を若干上回った（図表-1）。また、前月比（季節調整後）で見ても、5月は0.71%増と4月の同0.70%増（改定前は同0.82%増）を0.01ポイント上回っており、工業生産は5月にやや上向いた。但し、前月比の伸びは3月の同0.81%増（改定前は同0.80%増）を下回るレベルに留まることから、回復の勢いは依然として弱々しいといえるだろう。

（図表-1）



[輸出・消費・投資の3本柱]

輸出・消費・投資の3つの代表指標も出揃った。

5月の輸出は前年同月比7.0%増と4月の同0.9%増を6.1ポイント上回った（図表-2）。輸出先別に見ると、米国向けが前年同月比6.3%増、欧州向けが同13.4%増、日本向けが同2.2%増、香港向けが同0.8%減などとなっている。5月は香港向けが4月の同31.4%減から大きくマイナス幅を縮めたことで伸びが高まったものの、日米欧向けの伸びは4月よりも鈍化、輸出の回復力には依然として弱さが残る。

（図表-2）



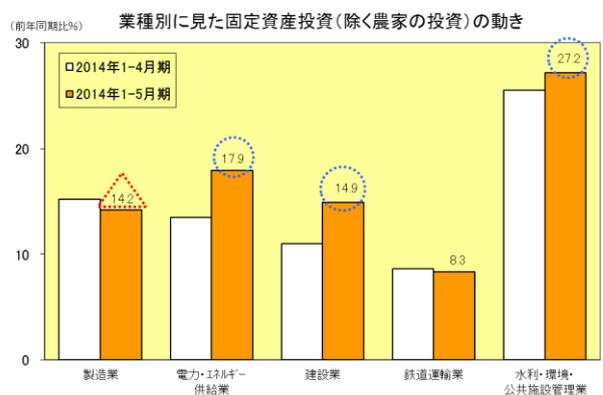
消費の代表指標である小売売上高は、5月は前年同月比12.5%増と4月の同11.9%増を0.6ポイント上回った(図表-3)。前月比(季節調整後)で見ても、5月は1.16%増と4月の同0.82%増(改定前は同0.83%増)を上回っており、小売売上高は上向いた。但し、価格要因を除いた実質では前年同月比10.7%増と4月の同10.9%増を下回っており、本格回復したとは言いがたい。

投資の代表指標である固定資産投資(除く農家の投資)は、1-5月期累計で前年同期比17.2%増と1-4月期累計の同17.3%増を0.1ポイント下回った。製造業の伸びは鈍化したものの、電力・エネルギー供給業などインフラ関連の伸びが加速して、鈍化を小幅に留めた(図表-4)。また、前月比(季節調整後)でも5月は1.32%増と4月の同1.34%増(改定前は1.17%増)を下回った。

(図表-3)



(図表-4)



[消費者物価]

また、5月の消費者物価は前年同月比2.5%上昇と4月を0.7ポイント上回った。但し、今年の抑制目標である3.5%前後を依然として大きく下回っている。食品が4月の前年同月比2.3%上昇から同4.1%上昇へと加速したのが主因だが、その食品も前月比で見ると0.2ポイント上昇と小幅上昇に留まっており、前年同月(2013年5月)に食品が下落した反動で上昇したといえる。また、サービス価格の動きにも特に異常はなく、インフレは依然として落ち着いているといえるだろう(図表-5)。

(図表-5)

消費者物価(分類別、前年同月比) (単位: %)

年	消費者物価		品目別						消費品(モノ)	サービス
	食品	うち生鮮野菜	衣類	家庭用品サービス	交通通信	娯楽教育文化用品サービス	居住			
2013年1月	2.0	2.9	2.6	2.5	1.5	▲0.3	0.5	2.9	2.0	2.2
2013年2月	3.2	6.0	10.0	2.1	1.6	0.2	2.0	2.8	3.3	3.1
2013年3月	2.1	2.7	▲10.3	2.3	1.6	▲0.3	1.7	2.9	1.7	3.1
2013年4月	2.4	4.0	5.9	2.5	1.6	▲1.1	1.5	2.9	2.2	2.9
2013年5月	2.1	3.2	▲1.9	2.5	1.6	▲1.2	1.3	3.0	1.8	2.8
2013年6月	2.7	4.9	9.7	2.3	1.5	▲0.7	1.4	3.1	2.6	2.7
2013年7月	2.7	5.0	11.8	2.2	1.4	▲0.1	1.3	2.8	2.7	2.7
2013年8月	2.6	4.7	5.2	2.2	1.4	0.0	1.2	2.6	2.5	2.7
2013年9月	3.1	6.1	18.9	2.3	1.4	▲0.2	1.9	2.6	3.1	2.9
2013年10月	3.2	6.5	31.5	2.4	1.5	▲0.6	2.5	2.6	3.2	3.1
2013年11月	3.0	5.9	22.3	2.0	1.3	▲0.5	2.8	2.6	2.9	3.3
2013年12月	2.5	4.1	2.6	2.1	1.4	▲0.1	2.9	2.8	2.2	3.3
2014年1月	2.5	3.7	2.1	1.9	1.5	0.2	3.3	2.8	2.0	3.7
2014年2月	2.0	2.7	3.3	2.2	1.3	▲0.4	2.1	2.8	1.6	2.9
2014年3月	2.4	4.1	12.9	2.3	1.2	▲0.4	2.1	2.5	2.2	2.8
2014年4月	1.8	2.3	▲7.9	2.3	1.2	0.1	2.0	2.4	1.4	2.7
2014年5月	2.5	4.1	▲2.5	2.5	1.2	0.6	2.1	2.3	2.4	2.7

(資料)CEIC(中国国家统计局)

以上、5月の経済指標を総括すると、供給面(工業生産)から見ると弱々しいながらも上向いてきているが、需要面から見ると、投資は鈍化傾向を続けており、輸出と消費も表面的には上向いたと見られるものの不安が残る内容であることから、景気は一進一退の動きから抜け出せていないと見られる。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。